

# 埼玉 首都圏

さいたま総局  
〒330-8557 さいたま市  
浦和区常盤4-12-13  
☎ 048-832-7311  
fax 048-824-7952  
mail saitama@saihi.com

東埼玉支局  
〒343-0845  
越谷市南越谷4-11-1  
☎ 048-985-3311  
fax 048-985-3150

西埼玉支局  
☎ 049-248-4800

北埼玉支局  
☎ 048-521-0011

川口 ☎ 048-256-3435  
所沢 ☎ 04-2922-2347  
久喜 ☎ 0480-24-1230  
秩父 ☎ 0494-22-0608

## きょうの天気

6-12時 降水確率 12~18時

20	さいたま	50
20	熊谷	50
20	秩父	60
20	越谷	50
20	所沢	50
さいたま	北北西	北北西
熊谷	西北西	北
秩父	北北西	所沢
気象	湿度 70%	最低
さいたま	波 0.5m	10度
熊谷	最高	10度
秩父	16度	8度
越谷	17度	10度
所沢	16度	10度
	16度	10度
	15度	
あす		
さいたま	北	越谷
	北北東	

ランドセルを贈って第1回ともあそびんを  
かきました。(おじいちゃんをもらって  
る)



昨年度、ランドセルを受け取った子どもがかいた感謝の手紙。県母子寡婦福祉連合会は今回も送りたいという(同連合会提供)

# ひとり親世帯支援 匿名の寄付に感謝

ひとり親世帯を支援する県母子寡婦福祉連合会(さいたま市浦和区)に今年9月、「匿名」で10万円の寄付が寄せられた。連合会は、これを原資にランドセルを購入し、ひとり親世帯に贈ることを決めた。「子どもたちから感謝の手紙を送りたい」と、支援者からの連絡を待っている。

8月下旬、連合会の事務所に一本の電話がかかってきた。「10万円もらったから、そちらに振り込みたい。振込先を教えてくださいませんか」。年配の男性のような声だったという。対応した事務局長の本田尚美さんは「本場に寄付があるのかしら」と思った。連合会に寄せられる寄付は団体

## 県母子寡婦福祉連合会へ10万円

## ランドセル原資に お礼の手紙送付へ「連絡を」



個人からの寄付の申し出に「驚いた」と話す  
県母子寡婦福祉連合会  
事務局長の本田さん

が中心で、個人の申し出は少ないからだ。名前や連絡先を尋ねても固辞されたため分かんず、振込先だけ伝えて電話を終えた。

すると、数日後の9月2日付で、見覚えのない名前だが、確かに10万円の入金があった。素直に「驚いた」と言う本田さん。電話の主が「10万円もらったから」と言ったのは、政府が新型コロナウイルス対策で支給した1人10万円の特別定額給付金を指すのかと思いつくが、本当のところは定かではない。

連合会は例年、支援団体などからの寄付金を原資に、小学校に入学する子どもがいるひとり親世帯にランドセルを贈る活動を続けており、今回の寄付は今年度分に充てる。コロナ禍で支援団体の懐事情も厳しいとみられ、団体からの寄付が途絶えただけに、ありがたい申し出だったという。

ランドセルを受け取ることが決まった看護師の女性(39)は「ランドセルの購入は経済的な負担になるので本当ありがたい。世の中には優しい方もいるんだなと思えました」と感謝の気持ちを込める。

例年、ランドセルを受け取った親子が寄付元に感謝の手紙を書いており、連合会として今回も手紙を送りたいと願っている。本田さんは「頂いた10万円がランドセルという形で、ひとり親世帯への支援になったと伝えたい」と話している。(宮脇稜平)